花とゆめCOMICS

よろず屋東海道本舗

冴凪（さえなぎ） 亮（りょう）

1

花とゆめCOMICS

よろず屋東海道本舗

第1巻

冴凪(さえなぎ)　亮(りょう)

この作品はフィクションです。実在の人物・
団体・事件などにはいっさい関係ありません。

目次

よろず屋東海道本舗
◆よろずやとうかいどうほんぽ◆
よろず屋
東海道本舗

父さんっ！母さんっ!!
義経 先に外へ出ていろ
大丈夫か!?
でもっ…
必ず後から行く
父さんを信じろ
父さんっ

あ〜…？
何だ おれ
いつの間にか
寝てたのか
ピピッ
おっ
アクセス
入ったか
『よろず屋』責任者：志摩義経様
──仕事依頼１件
時間はあまり取れないので日時は
こちらで指定させて頂きたいと思います
依頼内容の詳細は直接お話ししたい…
名前…は
〝駿河 香〟
…女か
カチ
明日
朝10時に
虹が丘公園の
時計台の下の
ベンチ…ね

それにしても
10時になったぞ
コノヤロー
〝互いに同じ
雑誌を持つ〟が
目印はいーけど
そんな女いねー…
だっ だまされた?!
ブツ
いやいやー…
どんな美人でも
…いや…許すかも…
おい
何だコラッ
おれは中坊じゃ
ねーぞ補導は
いら…
くそっ 駿河ーっ!!
おれと同じ東海道
地域の名字だからって
許さん!!!
ふがーっ
悪い
遅れた

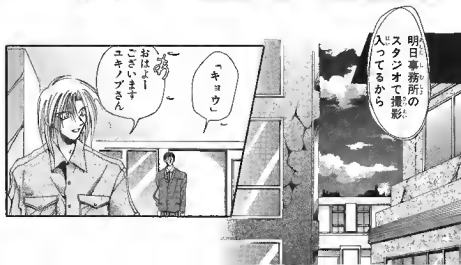
!?
雑誌と同じ顔…
それもおれだよ
本名が〝駿河香〟なの
〝香〟を音読みにしたのがおれの〝キョウ〟ってモデル・ネームってわけ
は――…
〝香〟って言うから女かと思ってたぜ
それ言ったらあんただって中学生にしか見えないじゃん
だから声かけるの迷ってたんだよ
おれは〝よろず屋〟の志摩 義経
お!よネット上じゃ結構評判良かったから依頼したんだ
さっそくだが依頼内容を聞こうか
今やCM・ドラマにも出る人気モデルの〝キョウ〟が――
ストーーップ

あんたには"キョウ"って呼ばれたくない
難しい奴だな…
判ったよ"香"ちゃん
その1 妙なファンレターが事務所に届く
差し出し人は"スノーマン"
週に30通程
内容はラブレター みたいに好きだとか愛してるから始まって
次にはおれの行動を把握した内容を連ねてくる
"スノーマン" 雪だるまの事か…
何か関係してるのか…心当たりは?
ない
その2 自宅に無言電話が一日一回は必ず来る
無言? 手紙は事務所行きなのにか?
…ってコトは住所からTEL№を知ったんじゃねーのかもな

行動を把握してるっつーのはかなり気持ち悪いな
うん そーゆーわけでこのスノーマンの正体を調べてほしいのよ
ボッ
ジジッ…
おれからも一つ言っておく
おれの前でタバコは吸うな
あぁ――
悪い
だいたいお前年下だろ
えっ!? 志摩さんいくつ!?
18だ
おれより二つも上だったのか
え――!!?
うるせー
とりあえずお前の家から調べるぞ

盗聴器も隠しカメラもなかったな
志摩さん手際良いのなー
おれの親父刑事だったからな
「だった」？
そ──
まぁとりあえず郵便物は事務所行きにしとけ
ゴミも調べる奴がいるから それも事務所に持ってった方がいい
香ちゃんがOKならしばらくガードも兼ねて調査したいんだけど
全然おっけーよ
…お前さーさっきからずーっと思ってたんだけど
めちゃめちゃ普通だな友達と話してるみてーだ
芸能人ってもっとこー高飛車なイメージがあったから
あっ気ィ悪くしたか!?
だから言ったじゃん
え？

志摩さんには"香"って呼んでほしいってさ
う…
やっぱりこいつモデルだ人の目ひかせるのうまい…
ところでお前彼女とかいねーのかよ
いないよ
いや彼女付きならストーカーも諦めるんじゃねーかと思ってよ
ムリだな~それユキノブさん許してくれねーもん
ユキノブ？
デビュー当時からのマネージャーでキビシー人なんだ
まぁ今好きな女いねーし…
でも彼女いたら却って狙われかねな——…
あっ
なっ何だ!?

志摩さんて
結構可愛い顔してるよね――
え
・イヤーな　予感・
軽ーくメイクすれば全然ＯＫそーだな
服もヅラも何とかなりそーだし
まてまてまてっっ
だって志摩さん彼女いたらストーカーも諦めるかもって言ったじゃん
うまくいきゃおびき出せるかもな
そーよ志摩ちゃん
明日事務所のスタジオで撮影入ってるから
「キョウ」
おはよーございますユキノブさん

遅いぞ 12時入りが 5分遅刻だ
すいません
?
後ろの女の子は誰だ?
あ この子はー
「ヨシツネ・シマ」香ちゃんの彼女です
彼女!? キョウお前ーっ
いや実は この志摩さんは
おとっ
パーン
おとなしくて 可愛くて 香ちゃん好みなの
おほほほ
何だよ 志摩さん
ボケッどこに 敵がいるか 判んねーだろ
欺くには まず味方からだ
嘘は時に 最大のやさしさに なるからな

まあ いい
お前が本気なら
香ちゃんが
言ってた程
キビシクねー
——？
イヤに簡単だな
スタジオ見学も
すんなりOK
してくれたし…
結構ファンが
忍び込むのも
楽なのかもな
くんっ
それにしても
なんか妙な
ニオイがする——

カチャ
何か
別人みたいだ
キョウと同じ事務所のモデルやってんだ
宮沢淳
これが…
「キョウ」か
よっ君が「キョウ」の彼女？
え？
ビックリした？
「キョウ」の変貌ぶり

結構有名なんだ
業界では
10歳からモデル
始めて今まで
やって来れたのは
この〝使い分け〟の
おかげかもな
おれから
見てもやっぱり
憧れるよ
うーむ
確かに注目
されるワケだ…
淳
入ってくれ
はい
じゃーね
お――
キョウ
絶好調じゃーん
気になってた
ニオイって香水か
スタジオにこもってんな

そーいや香ちゃんはつけてなかったな
何だ!?
視線…!?
それも憎悪を感じる程の――
ユキノブ――!?
あいつ――…

香ちゃんっ！
バタンッ
あのユキノブの事くわしく教えてくれねーか
志摩さんドアしめてから
全開
あ
ユキノブさんがどうかしたんですか？
あれ？
いや…
『ヤガミ ユキノブ』30歳独身
大学卒業後うちの事務所の社員として入社
マネージャー経験はおれが初めてで6年ずっと世話になってます
趣味は確か映画鑑賞だったと思いまー
ちょっ…ちょっと待…
お前ーー
誰だ？

くすっ
『キョウ』です
仕事時にのみ出てくる もう一人の人格——と言った所でしょうか
小さい頃からこの仕事をやっているせいであまり遊ぶ時間がなくて
モデルをやっているのがとても嫌になった時期があったんです
『キョウ』が現れたのはその頃からでした
でも今は この仕事を続けるには〝割り切る〟〝染まり切る〟方がやりやすい為です
この業界は結構ドロドロした部分もありますし
だから——
『香』としての時間も『キョウ』としての存在も区別したかったんです
貴方には『キョウ』というモデルではなく『香』という存在で見てほしかった
志摩さんに会いたいと思っていたのは『香』だから

何で…おれになんて…
単純です
ベつに何もないが
「よろず屋」いわゆる"何でも屋"をやってる人ってどんな人だろうって
丁度依頼したい事柄もあった事ですし
おれは ただ仕事して金を稼ぎたかっただけだぞ
お前が期待してる様な奴じゃない
いいえ
志摩さんは「香」を普通って言ってくれた
何 言ってんだ「香」ちゃんと同じ笑い方するクセに
「香」をちゃんと見てくれた
それだけで充分なんです
違うぞ
おれはこいつが「モデル」だから目を引かれたワケじゃない
このやさしい目をして笑う所に引かれたんだ
「香」ちゃんも「キョウ」も
父さんの様なあのやさしい笑顔に

全てひっくるめて
お前なんだ
逃げんな
逃げてたらダメなんだ
当時 連続放火が起きてて 親父はそれを調べてた最中だった
決まって犯行は深夜で 逃げ遅れて亡くなる家人は多くて
おれもちゃんとがんばるからさ
おれの家も例外じゃなかった
2年前 家が火事になった
父さんも母さんもおれを逃がしたんだ
やさしい嘘をついてから――
父さんを信じろ

わっ…悪い
ぽんっ
ポロッ
死んだんだ
だから志摩さん
あの時
タバコ吸ったの
嫌がったんだな
今すぐは
お互い無理
だろーけど
がんばろうぜ
判ったよ

落ちついた?

いつの間にか香ちゃんに戻ってやがるし

仕事終ってしばらくすると戻るんだよーん

おーっ

この後ユキノブさんとスケジュールの打ち合わせあるんだけど

志摩さんどーする?

そーだっそのユキノブ!!

これは可能性だからな

奴がストーカーかもしれない

え!?

この〝スノーマン〟だけど〝ヤガミ〟って数字の〝八〟に〝神〟って書くんじゃねーのか?

8という数字は達磨を連想出来るそして——

キョウ行くぞ

うわっ

?

どーした?

いやっ何でもないよっ

顔色が良くない様だが？
だ…
大文夫
ちょっと腹へったからかも
そうそう
ムリはするな
いいな
義経さんは申し訳ないですが先にお帰り下さい
何時に終わるか判りませんので
は——い
ユキノブさんこそ香ちゃんよろしくね
パタンッ
"ヤガミユキノブ"="スノーマン"
"8"="達磨"
"ユキ"="雪"だ
ユキノブの「香」(「キョウ」)への執着心はかなり強い
おれへの視線も異常だ
マネージャーという立場なら電話番号や行動を把握しているのも当然——

聞き込みもしねーとな
あれー志摩ちゃん
出たな香水軍団め――
やーかわいー『キョウ』さんの彼女だけあるー
あ…ありがと
あの人ちょっとヤバイから気をつけな――
あっさっきの――
淳だよ こっちは新人モデルのいずみちゃん
八神さんにキョウ連れてかれちゃったんだろ
え？
以前さ八神さんが落とした手帳の中チラっと見ちゃったんだよ
そしたら『キョウ』の写真が入ってたんだ
香の…!?
あぁ だから正直 八神さんが志摩ちゃんを許してくれたってのは意外だったんだ
今まであんなにイメージダウンがどーとか言って禁止してたのにさ

八神さんの名刺って持ってない？
あー…どっか行っちゃったかも…
私この間もらったばっかりだから持ってるよ
!!
はい
サンキュー
YAGAMI YUKINORU
志摩ちゃん一緒にごはん食べに行かないかー？
悪い今回はパス
名刺借りてくな
いーよじゃまたねー
男の子みたいな言葉使いの子だねー
そー？おれあーゆーのタイプ
おつかれ
すみません
キョウ
私を信じてほしい

信じる…？
ストーカーはユキノブかも知れねーぞ
お前にマイナスとなる事は
絶対にしない
まさか…そんな──
おれは何てマヌケなんだ
まんまと犯人の策にハマっちまう所だったぜ
だが 名刺を手に入れた今──

しぼれてきた
犯人は事務所内の人間だ
犯人はミスを犯した
ユキノブを犯人にしたて上げようと考えたこの〝スノーマン〟が
却ってヒントになってしまったんだ
だが それはユキノブじゃない
奴の「ヤガミユキノブ」という名の〝ユキ〟は〝雪〟ではなく
八神幸伸
〝幸せ〟という字で記されていたんだ――
犯人はユキノブの名を耳で聞き〝ユキ〟を思わず〝雪〟として変換してしまった

名刺を持っている奴でも
一度見た位では覚えてないだろうし——
あ——っ
もう少し
手がかりがほしいぜ
ボテー
後は
この手紙の
文字から機種と
消印から地域を
割り出すしかねーな
フワッ
あのヤロ——!!!
タッ
パ
ふぇ?
バッ
ズルッ
あ——っ
志摩さん
おっはよー

ぐいっ
いでっ
――。
じゃちょっと行って来るぜ――
えっ!?ちょっと…
キョウ
雑誌の取材始めるぞ
今のは…義経さんか?
あ…うん…
何か――『謎は全て解けた』とか
……

おつかれー
あ
どーもでしたー
ようっ!
Yes Mr. Snowman
ガチャ
ギクッ
…志摩ちゃん?
ドラ
あんたのバッグの中にあったよ
何でだろーね

そ…それは おれが
〝キョウ〟に頼まれて
犯人を見つけるのに
協力して──
これには
消印がないぜ
やれやれ
〝ビンゴ〟か
どこで
あやしいと
思ったんだ
まずは
〝スノーマン〟だ
あんたは八神の
フルネームを
正しく書けないな？
〝ユキノブ〟は
「幸せ」に「伸びる」と
書くんだ
そして あんたの
使用している香水だ
なるほど…
やられたぜ
香水？

業界で香水をつけてる奴は多いが
あんたのは他の奴らとは変わったニオイがしてた
さっきあるスタッフにあんたのは非売品で国内入手は不可能に近いと聞いた
もちろんこの事務所内で持っているのもあんただけだってな
そのニオイが以前送られて来ていた手紙の中から
かすかに流れて来たんだ
キョウはそのニオイに慣れてしまっていて気付かなかったみたいだが
おれは香水のニオイが苦手な分敏感だったんだな
すごいな犬みてーだ
ムカッ
キョウの奴がいけねーんだ

あいつがおれより売れたりするから
おれより人気出たりするから
おれの方がかっこいいのにっ…
あんな二重人格の奴にこのおれが負けるワケないんだ!!
だから あいつがモデルをやめちまえば良いと
そう思ったんだよ
それなのにいつまで経ってもやめる気配がないんだ
さっさとやめちまえば良いのに
カッコ悪い。

あんたのカッコイイって嫌がらせする事なのかよ
あんたもだってホントは判ってんだろ
あいつがめちゃめちゃカッコイーってさ
うるさいっ!!
ガンッ
あんたを"キョウ"から奪ったら泣くかな?
何だと…

大人しく言う事を聞いた方が良いぜ？
ボッ
カチッ
熱イ
苦シイ
可愛い顔にヤケド負いたくなかったらな
父さんっ
母さんっ
助ケテ
父サンヲ　母サンヲ

必ず後から行く
父さんを信じろ

ウソ

父サンノ ソノ
言葉ガ嘘ダッテ
オレ知ッテルヨ

ドウシテ
オレハ助カッタ?

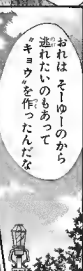
タッタ独リデ
コレカラドウスレバ
良インダヨ!!

父サン
母サン

オ願イダカラ
コノ手ヲ掴ンデ

独リニシナイデ
もう大丈夫 おれが いるから
大きくて暖かな手
志摩さん
香…？
大丈夫だよ
おれはずっと二人を助けたかったんだ――それが夢でも

一件落着――
だね
ちぇ…
何すねてんの志摩さん？
だって結局お前が大活躍じゃん
お前ドア突き破るわ淳に飛び蹴りくらわすわでスゴかったらしいな
う〜〜ん
かなりキレてたからな
コワイなお前
だって志摩さんの貞操の危機だったし
そーいえばユキノブさんがあやまってたよ
〝疑ってゴメン〟だってさ
え？

ユキノブさん 実は志摩さんが 例のストーカーかな なんて思ってた みたいなんだ
淳の奴は？
結構 競争意識 激しいから 芸能界も
うまいコト 彼女に なっちゃったんじゃ ないかって心配 してたんだってさ
なるほど それであんなに 敵意を持って いたのか
警察沙汰には しないらしいよ
かーなり 反省してる みたいだって
珍しくないんだ
おれは そーゆーのから 逃れたいのもあって "キョウ"を作ったんだな
淳は別の方法で その逃げ道を 作ってしまったんだ
あいつとはうまく やってたと思ってたけど そーじゃなかったのな
おれが ズルかったからかも 知れない

逃げたら
互いに背中を
叩いてやればいい

ねーところでさー
おれ〝よろず屋〟のバイトしたいんだけど
何!?
忙しーくせに
何言ってんだ
てめーは!!
いーじゃん
そしたら志摩さん
社長だよ
社長…
ちなみに
バイトさせて
くれたら
今日昼メシ
おごっちゃう
なにっ!?
よーし
仕方ないなー
じゃー うちの会社名は
「よろず屋東海道本舗」
として再スタート!!
志摩さん…
よろず屋東海道本舗／おわり

天壌無窮
君を覚ゆる
──よろず屋東海道本舗・2──

やっぱり夜になると怖いね——
何か今にも出そうじゃない？
誰か——いる…？
あれ？
きゃ…
きゃ——っっ
出た——っ!!

栃木の「歴史村」に
幽霊が出る
ネット上で
そんな情報が
流れた
おれは
ホームページに
よろず屋の依頼が
入ってない事を確認
してから
そこへ向かった
うわっ
本当に江戸時代に
来たみたいだな
◀志摩 義経(18)
よろず屋東海道本舗・社長
志摩さーん
え!?
まーまー
貸出所の
おネーさんに
情報もらって
来たからさ
香ちゃん?
どこ行って――
似合う?
お前な…
▲綾河 香(16)
よろず屋東海道本舗のバイト
本業モデルで元・依頼者
北館一階に
紅柄屋敷って
いうのがあって
そこへ行く時
通る松の廊下に
――

どの部屋に行く為でもなく意味のないわかれ廊下があるんだって
そこに武士姿の少年が現れ―
「幽霊」――
突然消えたって
死んだ人の魂
でも志摩さん依頼でもないのによく調べる気になったね
ただの好奇心からだからな
初めて情報を知った時
おれは一体――何を期待しているんだ…？
ここだな松の廊下は――
おれはふと2年前火事で亡くなった両親の事を思った

入村時間とっくに過ぎてんのに見つかったら香ちゃんワイドショー出まくりだな

志摩さん・・

?

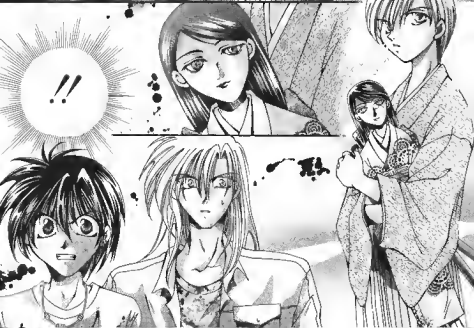
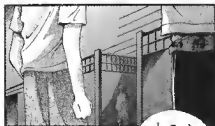
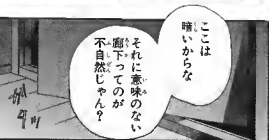
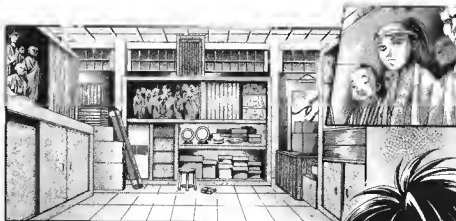
行き止まりの廊下ってのは

たぶん
この辺だとは

!!

ちょっ…
スッ
!!
書生姿の少年―
志摩さん…
いや
スッ
恐らく隠し扉か何かがある筈だ
でも あの人達目の前で消えたって…
ここは暗いからな
それに意味のない廊下ってのが不自然じゃん?
ガタッ
幽霊なんて
いる筈ないんだよ
…志摩さん…?

すげー真っ暗
あ行き止まった
げっ開かねぇ!!
えっ
あ引き戸だった
ちくしょ入口と一緒にしとけよ
志摩さん…
げっ

に…
人形…かよ
ビックリしたー
何だ？
作者名のマークってところか…？
志摩さん
あ？
あの少年は？
ここにも隠し扉があるのかな？
むー…ん
いや…どうかな――…
そーいや入口はおれ達が入って来た所しかねーな…

壁は物や棚でいっぱいだろ
じゃあ床とか天井とかは？
天…？
あ…!!
扉があったとしたら通る為に乱れが出来る筈だ
ちょっと待て!! おれ達が入って来た時この部屋暗かっただろ？
え？うん
あの暗闇で身動き取るのってかなり難しいぞ
スイッチの位置だってそんなに判りにくくもない
何故あいつは電気をつけなかったんだろう？

……
〃その必要がなかった〃
少年は消えてしまったのだ
え？　人形を持ってなかった？
少年の特徴は一致してるのにね
彼女達が発見したすぐ後に
あの隠し部屋の人形を持ち出した――とか
けど あそこにあった人形って皆男――
あっ 村長
うん 私達が見た時幽霊は何にも持ってなかったわ
確かに暗かったケドそんなに大きな人形なら気付くよ
おはよう
村長…？
『歴史村』の創立者のお一人よ
すみませーん

何じゃ中坊───…
18歳だよ
えっ!?
す…すまんのう
わしは村長の山崎左之助だが何か用か?
「緒方一」
「歴史村」の創立者だ
あれ? おれはてっきり〝一〟がつく名前かと…
あの人形たちについていたマーク…
?
緒方さんの事を言っとるのか?
この村も建物の設計も全て緒方さんのものだ
わしは彼のお手伝いをさせて頂いた形なだけなんだよ

しかし彼は
完成した一年後に
交通事故で
亡くなって
しまったんだ
…事故で…
志摩さん――
大丈夫かな…
だがよくあの
隠し扉を見つけ
られたものだ
わしなど気付く
まで7年は
かかったがな――
遅っ!!
むっ
緒方さんは
手先が器用で
人形から着物――
絵画など
多才ぶりを
見せていた
ものだよ

そういえば作品には必ず「一」の印を入れておったな
一
中でも恋人の鈴さんに贈るべくして作った
「鈴人形」はすばらしかった
「鈴人形」？
ああ隠し扉の部屋に高く飾っておっただろ
亡くなる前緒方さんは言っとった
鈴さんの生まれ月大変な贈り物を思いついたよ
もう一つはまだ秘密だ
一つは「鈴人形」
それを待たずしてあの方はあんな事に――…
でもあの部屋に「女」の人形は無かったケド？
そんな筈はないぞ？
何でも呼吸器系が弱まって療養する為に故郷へ帰ったと聞いたが
「鈴人形」がまさかあんな隠し扉の向こうにあったとは気付かず
やっと見つけた時鈴さんは既にこの地を発っていた
住所が判らず未だに「鈴人形」は渡せずじまいなのだから

…山崎さん
緒方さんと
鈴さんの写真
ある？
おお…
今も肌身
離さずーな
香ちゃん…
これっ…
あの少年
ーーー!!!

それにこの女性少年が手にしていた人形と似てるよ…!!
どうりでらしき人形を目にしてない筈だ
おい…
実は…あの隠し扉を見付けたのは
幽霊が出るという噂でそこに出向いた為なんです
何の事を話してるんだ…?
──その幽霊が緒方さんだったと…?
この写真よりは幼いけど──
よく似ている──
緒方さんはあの人形を渡せなかった事が
きっと驚くぞ
悔しかったんでしょうなぁ…
大変な贈り物だ

父さんや母さんにとって『悔い』とは何だったろう？
母さんは次の日友達と買い物に行くと言っていたっけ
刑事だった父さんは
未解決事件を追っていた──
これは一体『』を期待しているのだろう？
わかってる
おれは──
──さん
志摩さーんっ
どうしたの？
はっ
隠し部屋に来る前からボーっとして…
いや…その前から…だね

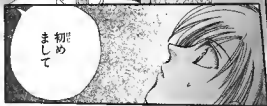
幽霊なんている筈ない
そう思っていながら頭のどこかで…
あの少年が幽霊であればいいのにと――…
おれは
父さんや母さんに会えるんじゃないかと
期待していたんだ
でももし現れてしまったら…
それは成仏してない
証拠なんだな

──
一つだけ…
間違いないと思える事があるんだけど
言っていい?
志摩さんが今こうして元気でいる事で
「悔い」は一つ減ってるって…
ほら
ひっかかる事があるんだろ!!
調べよーぜっ
あう
──よし
緒方を成仏させますか

『鈴人形』があったのはあの木箱か…
山崎さんが最後に見たのが2か月前だっけ
ああ
!
木箱の真下に?
──椅子──?
ガタッ
山崎さんが踏台として使ったんじゃないの?
おれが言いたいのは 時間の経過だよ
山崎さんがここに来たのが2か月前なら
──かもしれないケド
この本の跡が埃でついてる筈だが…

ついて
…ない
この本だけ不自然に床に置いてあっただろ
椅子を使う為に その上にあった本をどけたってところだな
じゃあ やっぱり あの少年は――
――って事はこの本がここに置かれたのは最近…？
そーだねえ
人間だな
だとしたらあの時消えたのは――？
それは今から調べようぜ
見つけた!!

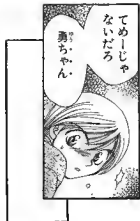
おいっ
待て!!
ダッダッダッ
だんっ
ガンッ
やっぱりこの中だよっ
ばんっ
今度こそ…!!
なんちってな
!!
ドサッ

わははっ
破れたりー!!
志摩さん大正解
ギィィ
この間 消えたのもこのパターンだろ
深く考えすぎたな
初めまして
"よろず屋東海道本舗"の者でーす
斉藤勇
おれは鈴の孫なんだ
ばあちゃんが田舎に戻った時お腹には緒方との子供――
つまり おれの父さんがいたんだよ
そうか 鈴さんは緒方さんの子を宿してたんだ――
やる事はやってたんだな
てめえらっ
ハハ

ばあちゃんは父さんを産んだ後も結婚しないでずっと独りだったんだ
鈴は今どこにいるんだ?
このすぐ近くの病院だよ
は?! 近く──って!?
呼吸器系の専門の医者がいるっていうから一週間前に移って来たんだ
もうずっと昔から入退院を繰り返してるんだけど
ばあちゃんよく言ってた
いつか病気が治って遠出が出来る様になったら
緒方との思い出の土地『歴史村』へ行きたいって──
こんな形でだけど戻って来たんだ
おれもばあちゃんの為に何かしてやりたくてさ
ふと思い出したんだ昔ばあちゃんが一通の手紙を見せてくれたのを──
この手紙はね

緒方さまが
亡くなる前日に
渡して下さった
ものなんだよ
これは
何です？
君の誕生日の
贈り物のある
場所を記した
手紙です
何 ちょっとした
謎謎ですよ
君の為に
「鈴人形」と
もう一つ別の
品を用意したの
だけれど――
直接渡すのは
どうも気恥ずかしくてね
どうしても
判らなかったら
私の所へ
来て下さい

結局 場所は判らず
その答えを聞く
事も出来なかった
けれどね……
とりあえず一つ目の
『鈴人形』の場所…
隠し扉は この間 偶然
見つけられたけど
生まれ月
緒方さまは何を
用意して下さっ
てたのかねぇ…
医者が言うには
次に発作が来たら
ヤバイって
だから…っ
その前に
緒方さんの
プレゼントを見つ
けてやろうって…
緒方の死が
もう一つがどうしても
判らなくて…
ばあちゃんは今も
贈り物が何かと
気にしていたからな
鈴や山崎さんの
時間を止めている

この勇のさえも
その手紙って今も持ってるか？
ああ
ゴソ
これだよ
玄武の體…
鈴さん
二十二歳の誕生日
御目出度う
『鉄人形』は『歴史村』の
玄武の體の中
二つ目は日の無い
作品の中
〝玄武〟は北方の神
〝北館の中〟か
おれが『歴史村』へ初めて来た日
従業員の女の人に見つかってさ
動揺して壁につっこんだら回転したんだ
ホントに偶然だったのな
うるさいなっ
この手紙は預かるぞ
お前は鈴についててやれ

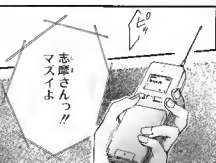
後はおれに
任せとけ
ぐい
鈴の
涙の意味を
知ってるからだろ
ぐ
…何で
あんたが
そんな事して
くれんだよ
もう暗いから
香ちゃん 勇を
送ってやって
おれ この
手紙のイミを
考えるから
うん
変な…奴

じゃあ行こうか
ああ――…
イテッ
え
足にアザが出来てる…
あ…
もしかしてさっきすっころんだ時？
……っ!!
ばっ…
ばかやめろっ!!
だってケガして――
!

降ろせってば
てめー―っ
うん?
うん…?
うんうん
ばたばた
てめーじゃないだろ
勇ちゃん
『二つ目は日の無い作品の中』…?
日…?
日時の事か?
いや――
〃日〃は太陽や日光の意でもある
〃日の無い〃は夜―?
夜の作品…
違う
違うっ
これも違う!!
くそーやるな緒方ー
そーか!!夜の絵とか…!?

まさか夜に作った作品とか言わねーよな…
〝一〟!!
作品の印……
緒方さんは必ず作品に〝一〟の印を——
『鈴人形』にも〝一〟の印はあった
そうかあれは〝日〟じゃなくて——
カタ
ああ——…
〝一〟の無い作品か!!
やっぱり志摩くんか
山崎さんも探してくれ
?

印の無い作品？
それなら——
あの掛軸が——
これが？
ガタッ
印が無いだろう？
本当だ…
でも— この絵…紐…？
おお…？
ある意味その絵自体が印になるか…？
え
緒方の〝緒〟は紐と糸口とか
そういった意味合いを持っているだろう？
糸口——？

カタンッ
解決の――
糸口か!!
緒方って
結構
曲者だな
き…
気付か
なかった
はははは…
ガコッ
カサッ

プルルルル
うわっと
携帯か…
これ…！
ピッ
志摩さんっ!!
マズイよ
香──!?
鈴さんの
容体が
──っ…
なっ…
判った
すぐ行くっ!!
ジョーダン
じゃねえっ!!
これを
知らずに
死なれたら

おれが後悔する
ばあちゃんがんばって
志摩さんが来るまで…
先生…母は――
残念ですがこれ以上はもう――
志摩さん…
お…がた…

鈴っ!!
ピクッ
緒方からの贈り物を届けに来たぞっ!!
…っ…
ぜえっ
…お…っ
ぜえっ
ぜえっ

緒方
緒方の言っていたのは
この白無垢と手紙だ
天壌無窮
君を覚ゆる
緒方は——

鈴に
姓を贈ろう
天壌無窮
君を覚ゆる
緒方は 鈴に
姓を贈ろう
その時
一瞬――
あの色褪せた
写真の頃の二人を
そこに見た気がした

鈴の最期の表情は笑顔だった
元気でな山崎さん
志摩さん
色々とありがとよ
おう香ちゃ…
あれ？勇…
すぐそこで会ったんだよ
また
来る予定とか…あるのか…？

あー…
どーかなー
そっか…
まー お前の家に泊まれて
宿代が浮くなら来てやるぜ
ポムッ
カあっ
え？

な…何だよっ
その顔はっ
志摩さん一応言っとくけど——
勇ちゃん女の子だよ
何ィ!?
勝手に勘違いしたのはそっちだろ
お前の口が悪すぎるからだよ
くやしかったら緒方作品の似合う女になってみな

天壌無窮　君を覚ゆる
／おわり

空間(くうかん)を埋(う)める者(もの)
—よろず屋東海道本舗(やとうかいどうほんぽ)・3—

第20回天河祭
たこ焼き
たこ焼き屋
はあー
一般入場日
じゃねーとはいえ
にぎやかだなー
おれは『志摩義経』
〝よろず屋東海道
本舗〟責任者
〝よろず屋〟
とはいわゆる
何でも屋だ
志摩さん
おう
香ちゃん
こいつはうちの
バイト『駿河香』
きゃー
最近ドラマの
仕事で学校来てな
かったのに──!?
うちのクラス
カラオケやって
るから寄って
ってよー
そう 実はこいつ
今人気のモデル
『キョウ』なのだ
後で
なー
まったく どこ
行ったかと
思ったら…
でけー声出すな
久々に今日休み
なんだよっ
あー
〝キョウ〟
だーっっ
元々 依頼者と
して知り合って
気の合う仲間
となった
お前 そんなに
仕事ばっか
やってんじゃ
最近は『キョウ』の
方がフル活動だな

…そうですね
このままじゃ
おれが——
くす
香をかき消して
しまうかも
知れません

げっ
なんちゃってー
「キョウ」のマネー
がく
余裕出来たな
香ちゃん…
少しは治ったか
その二重人格
志摩さんが近くに
居てくれたら
出なくなるかも
仕事がうまく
行かない時とかは
やっぱり出て来
ちゃうからさー
甘ったれるな
ボケ

ちょっと…何やってんの
冷した方がいいって!!
志摩さんっ
大丈夫!?
良かった また ぶっ倒れるかと思ったぜ…
あ…ああ
いつか父さん達の墓参りで線香立てられる様になりてーのになぁ
いつも火が付けられなくて掃除だけで終ってたから
――…
志摩さんの両親か――… おれも一度会ってみたかったなぁ

おう——
母さんは明るくて
天然ボケが多くて
飽きなかったぜ
考え方も好きだった
義経…事件を
起こした
犯人ってのは
悪い奴で片づけ
られる程 簡単
じゃないんだ
父さんは家が
被害に遭うまで
放火犯を追って
いたよ
父さんは…おれの
憧れだった
それぞれの理由も
考えもある
——って
これ 父さんの
ログセだったんだ
おれはその言葉を
今もよく思い出す
へぇ…
ところで香ちゃん
これ話してたヤツ
ああ 確か
『よろず屋』宛に
メールが
届いたんだよな

啓示 1
『志摩義経』に災いが降りかかるだろう

次の日に窓ガラスを割られて…

それがまず一週間前に送られて来て…

〝よろず屋〟の悪い噂もその日から流れてんだろ？

まぁ おれが心配なのは〝2〟の方

昨日届いたやつだよ

啓示 2
『天河祭』に来なければ
『駿河香』に
〝ラ・トゥール〟と〝エホバ〟の
災いが降りかかるだろう

イタズラだと思っていたが おれのが実行された訳だし

でもこの『天河祭』が香の学校の文化祭名だとは思わなかったぜ

『天河祭』って記した所や おれと志摩さんが知り合いだと判っている辺り…

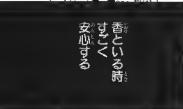
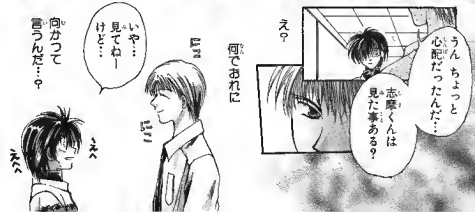
ここの生徒には間違いねーよな

ゼッテーしばく

お前 キレ易いゾ

何言ってんだよ志摩さん おれのせいで被害に遭ったんだぜ!? 友達に志摩さんの名前言ったコトあるし…

だけど今
狙われてんのは
お前で・・・
おれは!!
志摩さんに何かあった方がイヤなんだよ
おれは
今ハズカシー奴って思ったでしょ?
イヤ…まぁちょっとな…
はずかしくて口にはしねーけど
香といる時すごく安心する
!!

なっ…
ドッ
誰だてめぇは!!
……
香…!?
何ムキになってんだよ
こいつ…
エジソン…
エジソン?
んでコイツ誰だよ?
おれがよく話してた志摩さんだよ
かぱ。
ごめん あれクラスメートで“十枡英二”
名前の響きからあだ名がエジソンってワケ
英二──っ鍵は見つかったか───?
あ 部長

やぁ 香くん
もう来てたのかい？
半月ぶり位かな
学校来たの
誰？
相戸先輩
演技の事で色々
相談して世話に
なってたんだ
そのお陰で
香かなり自信
つけたよな
うん今やってる
ドラマも欠かさず
観てるケド
うまくなったよね
はじめに会った頃は
気が滅入ってたせいか
猫みたいに丸く
なって落ち込んで
たのになぁ
猫…って おれ
そこまでヒド
かったですか？
うん ちょっと
心配だったんだ…
志摩くんは
見た事ある？
え？
何でおれに
にこ
いや…
見てねー
けど…
向かって
言うんだ…？
にこ
えへ
えへ

そうなんだ
くす
演劇部の準備どーですか？
この劇って おれが出演断ってしまったやつですか？
うん 二作品書き下ろしてたんだけど結局これに決まったんだ
……？
順調だぜ 今回『三銃士』でおれ鉄仮面役なんだ
へぇー…あ
でも 君が出られないのは残念だったな
……
済みません スケジュールがどうしてもいっぱいで…
いいよ 部員でもない香くんに無理に頼んだのは僕だから
ただ うちの生徒にも君の演技を見てもらいたかっただけなんだよ
ドラマと違ってNGきかねーけどな
あ

ただ安心したんだよ
どーしたの志摩さん
何かうれしそー
別に――？
学校で楽しそうにしてる香を見てな

あ そうだ英二このトランクの鍵あったか？今日中に渡す報告書が入ってるんだけど
あ それが見つからなかったから――

この棒で叩き壊そうかと
あの――
ちょっと貸してみて

志摩さんまさかそのヘアピンで…
カチャ
カチャ
カチーン

ワルっつ
ドロボー…!!
すげえ!!本当に開いてる…
ナゼ…？
父さんに教えてもらった一つだよ

ありがとう
助かったよ
そうだ 二人共
うちの劇のぞいて
行きなよ
今日の上演は
終ってしまったけど
明日の為の通しの
練習するから
僕は先生にこれを
渡してくるから先に
体育館に行ってて…
英二はその棒
返して来い
うぃーす
ん？
どーした
香ちゃん
今理科室で
何か割れた
音が…
この辺って
何かに使って
んのかなぁ？
化学部とか
じゃねーの？
あ
開いてる

すいませーん
誰かいますか
――？
あ
ちょっと
待――
ドサッ
!?
ダッ
香っっ!!
――!!
しまっ…た…

何で油断しちまったんだおれは!!
相手はご親切に脅迫状まで送って来てたのに…!!
う…
かおっ…
それにしてもここ…倉庫…?
香…
良かった…ケガはねえか…
タン
タン
…お前…
十枡…?
おい…っ

ぐいっ
…!? 香を連れて行く気か!?
ちょっ… 待て!!
げっ…
あぶ…
ねえぞ

!!
てめぇ…
何の為に…
ドサッ
!
くそっ
待っ…
う…っ

ズガッ
!?
やばいっ
香が──!!
バタンッ
うっ
タンッ
タン
冗談じゃねーぜ
ケガするわ
痛えっ…
ズキズキ
カッ
ガンッ
ガンッ
服はダメになるわ…
手は痛いわ…
香は連れて行かれるわでよっ!!
ガキィッ

あいつ…
ムカツクぜ
じゃあ 英二
次シーン23
私はこの四人について知っている事をお話ししよう
わかっているのは彼が——
いた…!!
十枡!!
香を どこにやったんだよ
どんっ

香…？
いや…
見てないぜ…？
嘘だ…
あの脅迫状
お前が出し
たんだろ!?
は…？ 何の
コトだよ!?
"警示"とか…
"ラ・トゥール"
ってヤツだよ!!
だからっ…
マジで知らねーって
言ってんだろ!?
おれは お前達と
別れた後 すぐに
ここへ戻ったんだ
おい
君…
うるせえっ!!
絶対 こいつの
仕業なんだ
本当だよ!!
エジソンは鍵を
探しに行った後は
ずっとここで
練習していた!!
そんな…だって
香は確かに…
鉄仮面の男に…
違う…確かに
エジソンが犯人って
証拠は無かったのに
そうだ…おれ
混乱してる──っっ…
あの時と一緒だ…っ

もう会えない
もう声も聞けない
いつも埋まっていた
所に隙間が――
『空間』が出来る不安
香が近くにいる事が
当たり前に
なっていた
手を伸ばせば
必ず触れられる
と思っていた
いつの間にかその空間を
埋めていてくれたんだ
志摩さん!!

「ラ・トゥール」ってさっきあんた言ったよな…？
「ラ・トゥール」っていうのは　鉄仮面の男が囚人として獄中に入れられた時に
呼ばれていた名前だよ
その鉄仮面に香は連れ去られたんだよ
鉄仮面はお前が持ってる筈だろ
だから　おれはお前が犯人だと思い込んだんだ
何ィ!?
──？
あぁ…お前　何か知ってるのか…？
鉄仮面なら舞台の袖のダンボールの上に──…
あれ!?　無くなってる…!!
おいっ　誰か知らねーか!?
さぁ…知らないなエジソン練習の時もあんまり鉄仮面つけてなかったし
誰か持っていったのか？
なぁ…
鉄仮面の目撃者はあんただけなんだぜ？何か気がつかなかったのかよ？

〜んなコト言われても…
今回の演劇部の内容を使ったのは偶然じゃないよな
鉄仮面を容易に持ち出せる所も部内の者の仕業…
部長は…!?
あれ!? そういや…ちょっと前はいたと思ったけど――…
まさか…部長なのか? あの脅迫状を送って来たのは…!!
確かに あいつならおれと香が知り合いだと知っていた――
!!
そうだ…あいつ最初に会った時おれの名前を呼んでた…!!
志摩くんは見た事ある?
十枡は 香におれが誰かと聞いていたのに…!!

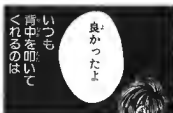
おれを知っていたんだ!!
十枡!! 確か鉄仮面の劇は部長が書き下ろしたって言ってたよな!?
え…ああ
香の出演の為にな
じゃあ 劇中に「エホバ」って言葉もあるだろ!?
エホバぁ!?
〝エホバ〟は旧約聖書の「創世記」で
大洪水を起こした主の名だ…!!
部長 言ってたろ 二作品書き下ろしたって――
もう一つが その〝ノアの方舟〟
君が出られないのは残念だったな
それは〝鉄仮面〟じゃねえ
〝ノアの方舟〟だ
ノア…?
大洪水…!?
〝大洪水〟を起せる様な場所…
プールか…!?

プールならこの間掃除したばっかで人入ってねーぜ
急ごう!!
───ああ
!!
ズキッ
志摩さん!?
どーしたんだそのキズ!!
おれ一人で行って来るからあんたは傷の手当てをした方が───
いいって…
ダメなんだ
あいつの無事な姿を確認しねーと…
不安に…
押し潰される
ダメなんだよ

ホ〜〜
さっきおれに怒鳴り込んで来たのって
〃香〃がいなくなったからか
香がよく〃志摩〃さんの事ばっか話してたからどんな奴かと思ってたけどよ
ーそうだ
良かったよ
いつも背中を叩いてくれるのは
あんたが〃志摩〃さんで
香なんだ
よっしゃ これでいいだろう
悪い…
でも
おれ何で部長がこんな事すんのか判んねーぜ

初めてドラマ出演決まった時香が演技がうまく出来ねえって悩んでたんだ
だからおれは部長に紹介して相談に乗ってもらったんだよ
おれが見た限りじゃ
部長が嫌々引き受けてた様には見えなかったし…
香の仕事の事も喜んでたのに…!!
むしろ──楽しそうだったけどな
そうだよ あいつ香の前で笑ってただろ…!!
楽しそうにしてたじゃねーか!!
なのに何で…っつ

ザァアア…
ピク
う…っ
ボボボ…
ん…？
うわっ
何だ？
パシャン

ここ…
プールか…っ
ドォォォ…
ぷはっ
何…か
ひっかかったぞ
カクンッ
一体どーなってんだよ
パシャ
バシャッ
どわっ

なっ!?
マジかよ…
鍵か…
はずせねぇぞ…っ
ガチャ
ガチャ
――
椬戸――
先輩…?
す…
す…
香くんはね
ここで
死ぬんだよ

香!!
やあ
君か――
主の裁断は下ったよ
何――!?

香!!
志摩さんっ!!
お前 ケガとか
してねーな?
大丈夫なんだな?
ほら 早く
上がって来い!!
そ…
それが――
無理だよ
香くんの足は
鍵付きのチェーンで
繋いであるからね
じゃあ
水を止め…
残念だけど操作
パネルは壊して
しまったんだ

そうだ…!!
このヘアピンで
あ…
志摩さん
ちょっと――
志摩さん!?
鍵あけてくる!!
ケガしてるのに
何言って――
待っ…
ドボーーンッ
よじ
これか…

ちくしょ…ナンバー式か…!!
おれも開けようとしたけど全然だめだったんだ
ガッ
十柄!! 何か壊せるモノ持って来てくれ
ああ
おい てめー!! 一体何のナンバー入れたんだよ
君は おかしな事を言うな…
そう言われて僕が答える訳がないだろう?
香くん 本当はね あの演劇部の出演を断ったのも許せなかったんだ
…先輩 何でおれを——…
だけど 諦められなくて
…覚えてる…? 君は初めて会った僕をとても頼りにして来ただろ?
僕は それがとても嬉しかったんだ——
だけど 最近は仕事で学校には あまり来ないし…
君の最期は絶対僕の作った劇で…と思ったんだ

…っ 何…好き勝手
ぬかしてんだよ

ガキか
てめぇは…っ

志摩くん

これは
君が原因でも
あるんだよ

何…？

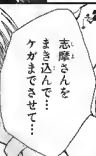
香くんが
楽しそうに
君の事を話すからさ

だから 君に会って
みたかったし 罰を
与えたかった…

許せなかったんだ
僕以外の誰かの
話をするなんて

貴方は自分の事
しか考えてない…
そんな人には確かに
志摩さんの良さも
香の事だって絶対に
理解出来ませんよ
香は貴方を
信頼していた
今…演技が出来
るのは貴方の
おかげでもあるって
判ってますよ
お前…
"キョウ"!?
はい
どうも 香には
衝撃が強すぎ
たらしいです
!!
ところで志摩さん
結構キツイん
ですけど…息…
あ…
ああ
チェーンの長さの分
上に上がっとけ
はい
さっさとこんな事
終わらせてメシでも
食いに行こーぜ
はい…
………

とにかく鍵をなんとかしねーと
バシャッ
あれで何とか──…!!
!!
ビチャッ
ポロッ
ザバッ
ドボン
ズキン
くそっ…傷が開いたか…!!
!!
ま…さか
あんなので切るつもりか!?
ムリだぞ…

血…!!
あの時の——…?
嫉妬の毎日?
香を得られない不安感か?
それとも——
!!
刃がかけちまった
やっぱダメだな
…なぁ
お前っ…
香をここで殺して…
何を終らせたいんだ?
ただ香の生命かよ!?
違うだろ
お前本当は今不安なんだろ
本当に香を殺しちまっていいのかって…
だからナンバー式の鍵なんか付けて
助ける術を用意してんじゃねーのか?
僕は…っ
おれは…
おれはなぁ…

学校で十枡やお前と笑ってる香を見て…
すげー安心したのに
もうこれ以上…
仕事以外の場所でまで香の存在消すなよ!!
大切な人を失うのはイヤだ
ズルッ
!!
香!!
ドボン
ノアの…600歳7月17日…!!
洪水の終息の日だ…!!

…ああ
ごめん――…
香くん…っ
ガーン
言いたい事があれば
最初から言えば
いいだろ
志摩さんを
まき込んで…
ケガまでさせて…
おれは貴方の
満足する様な
答えは出せない
けど――
今まで世話に
なってた事も
感謝して
るんだっ

ほら
志摩さん いつまで泣いてんだよっ
ポン
ケホッ
てめーが途中キョウに逃げてんだよ――!!
ぶっこいたから怒っ
うおっ
おれの前じゃキョウは現れなくなるって言ってなかったっけ?
えっ おい
…言った
泣いてんじゃねえ
晩メシ 香ちゃんのおごり決定
え――
あっ おれも おれも――
何でエジソンまで!!

空間を埋める者／おわり

イヴ　ほうもんしゃ
聖夜の訪問者
―よろず屋東海道本舗・4―

すげ――
あの…
「よろず屋 東海道本舗」
…の方ですよね…？
はい 志摩義経と
駿河香です
そちらの方… モデルのキョウさんって方じゃ…
今は それとは 別件なんで
それはおいといて
何か 喰えねえ奴…
使用人かな
どうぞ ご案内します

依頼者の小林ほとりさんは？
今日は 彼女の婚約披露で支度をしてます
へぇ…相手は？
あ…それは――
ちょっと
何グズグズしてんのよ
さっさと準備なさいよ
すみません…
まったく陰気な子ね
美人だけど嫌な女だなー
大女優のAさんみたーい

まさか 今のが ほとり…!?
はっ
いえ あれは 彼女の叔母 です
クリスマス パーティーも 兼ねてるんです
ガチャ
こちらが 会場に なります
へぇ――
あ――!!
え?
キャ――ッ!!
キョウ だ――!!
本物だよね どーして こんな所に いるの――!?
呼ばれた んでーす
ほとりちゃん お二人が よろず屋の方…
うそー!?
このチビが?!
このガキが?!

てめっ 誰がチビだ
ギャー
あ…あっ…
ちょっとガキなんて失礼な奴ねー!!
同レベル
ギャー
パパと周平さんのお父さまが幼なじみなの
使用人の彼がほとりが婚約するって言うから16歳以上かと…
この人は 私の婚約者の日向周平さん!!
使用人じゃないわよ
…まったく…
…なっ…
勝手に子供の将来決めちゃうなんて…
ほとり…もしかしてお前婚約が嫌で ぶち壊すのが依頼？
違うわよ!!

『All purpose』
通称『APP』を探してほしいの
APP〜〜〜!?
何？知ってんの
最近ネット上に現れた“何でも屋”
つまり便利屋さん
HPは出してねーがCHATや掲示板にたまに出現してPRをするから
知る人ぞ知る存在ってワケ
しかも結構評判良くてよろず屋にも影響出てんだよ
ちなみに『APP』はベストセラー小説のタイトルでもある
最初も一緒
そーいやユキノブさんが読んでたなー
ユキノブはキョウのマネージャーです。
APPは私その小説のファンなのー
キョウみたいな容姿って書いてあるし
現実もそうとは限んねーぞ
志摩さんみたいにガキじゃなかったもーん

てめ…
ほとりちゃん
まるで会った
事あるみたい
じゃん?
周平くん
大きな声じゃ
言えないけど
彼女 誰かに狙わ
れてるみたいで
ボソリ
おめー 元々
声小せーよ
偶然 彼に
助けてもらったの
危ない所をね
この間 2階の
ベランダの手摺りが
外れて落ち
そうになってね
その時のお礼を
きちんとしたいの
ちょっと高飛車で
自信家だけど
憎めない人だったな
周平さんも彼の
ように少し
自信を持ってよ
ご…ごめん
お前 日向に
APPの存在
押しつけんなよ…
いいんです
僕には 特別
秀でるものは
何もないから
どんな事も
解決してしまう
APPの男には
憧れます

そんな事
ないわよ
周平さんの書いた
小説面白かったわ
困っている人
放っておけない
性格だし
そういう所
好きよ
私は
へえ…こいつ
良い所ある
ちゃんと日向を
見てるしゃん
ほとりちゃんっ
てっ…
哲郎…
探したよー

どーんっ
大変だねー
お父さんの
せいで
婚約なんて
ちょっ…
おれの方が
ダンゼンほとり
ちゃんに似合う
ってカンジー？
しかも 相手が
あんな冴えない
奴だし
君のお父さん
見る目ないよ
哲郎っ!!
あっ…
スッ
おい…
婚約なんて
解消しちゃいなよー
たたっ
日向っ…
周平さん…
放って
おきなよ
あんなのさ…
ふわっ

おニーさん
うちのお姫さまに手ぇ出さないでくれる？
それに お前 人を中傷出来る程――
最高な男なワケ？
…う
ねぇ？
ふんっ
ところで今の誰？
従兄よ
あいつ全然〝私〟なんて見てないくせにさ
哲郎だけじゃない 皆そう
〝パパの娘〟だからチヤホヤするの
あ…それ ちょっと おれも判る

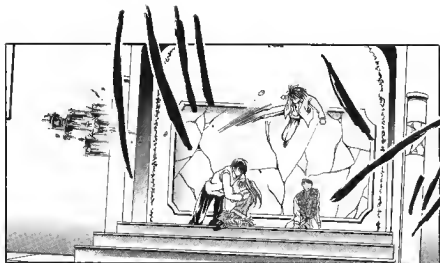
皆 おれの事
モデルの〝キョウ〟
として見てて
〝駿河香〟の存在が
消えてる気がした
時期があった
誰かに〝香〟を
必要としてほし
かったんだなぁ…
そー!!
そーなの
初めて会った時
〝パパの財産〟が
目当てなの?
って言ったの
そしたら婚約は
やめようって
言い出したわ
君は君で将来を
決めるといい
君の人生は
お父さんの
物じゃないよ
でも周平さんは
〝私〟を見て
くれたのよ!!
小説家目指してて
病院を継ぐなんて
出来ないしって
ありふれた言葉
だけど 周平さん
私の目を真っすぐ
見て言ったの

周平さんは
自分が
思ってる程
ダメじゃない
私がAPPに
会いたいのは
周平さんに活を
入れてもらう
為でもあるの
おいっ
何も言い返さ
ねーで…
もっとガツッて言っちまえよ。
いや…本当
の事だし…
だぁ──
!!
まずは その
セリフやめろ!!
お前の良い所
ほとりが言っ
てただろ!!
…………
僕の事あんな風に
ほめてくれたのは
彼女が初めてだよ
口は悪いけどな
だけど…それが
却って重いんだ

彼女は明るく
しっかりしてて
きっと素敵な
女性になる
彼女にふさわしい
男性はAPPのような——
どーして架空の
人物を出すんだよ
僕には
胸を張って
誇れるものは
何もない…
だから
考えずには
いられない
彼女の隣に
立つのは僕で
いいのかって…
ザワ
ザワ
う——
やっぱり香くん
似合うーっ
志摩さんは
ドレスの方が
良かった
かしら？
おめーやっぱ
可愛くねー
ふふ・
お嬢さま
そろそろ
はーい

皆さん
本日は お忙しい所
パーティーに
出席して頂き
感謝致します
実は 娘のほとりと
私の友人 日向くんの
御子息 周平くんとの
婚約が決まりました
パチ
パチ
パチ
パチ
そして
つたりィな
苦手なんだよねー
校長センセの話
とか
これを機に…
お判りる
ソレ
遺産の全てを
ほとりに譲ります
な……
お静かに
しかし まだ
ほとりは幼い
よって成人している
周平くんにも財産を
任せようと思う
何と…
ザワ
ザワ
それは
いくら
何でも—

だから 言った
でしょ 兄さん
皆 納得
しないって
大変な
騒ぎだな
あぁ
きゃ…
窓が開いてる
な…
ハト…!?
あそこから
入って来たのか
ガシャン
!!
ガクンッ
ほとり!!

ガシャン
大丈夫か!?
は…はい
志摩さん
これ…
例の〝ほとりを狙った犯行〟か…
ザワ
ザワ
ハトが乗った位でシャンデリアは落ちねーだろ
留め具が緩められてたか…
ハトもいつの間にか消えてるし…
あぁ…
日向…？
スッ

あ…
香ちゃん ここでちょっと待ってろ
え？うん
どーした哲郎クン
顔色悪いぜ？
皆さん落ち着いて下さい
パーティーは一旦中断します
シャンデリアの始末を…
他のも安全か確認しろ
見たんだおれ…
日向の奴が屋敷中を調べ歩いてるところを――
本当なの…？
ほとりちゃん
待てよ
あの位置じゃ日向さん自身だって危険だったんだぜ？
そうか？

遺言状で 日向は 相続権を 持ったんだ… おじさんを狙っても おかしくな…

るせーぞ 小僧

ほと…?

確かめるわ

でも 哲郎の方が年上

確かめるって…!?

周平さん本人から 聞くの!!

証拠隠滅をしてた?

でも 日向が ほとりを狙う 理由なんて…

チェッ
!?
誰だ!?
パーティーに
あんな奴
いなかったぞ!!
てめえ
何者だ!!
くすっ
ハァーイ
APPでーす

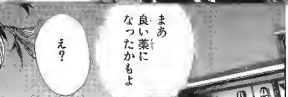
えっ
APP…!?
確かに香ちゃん系だ
……それなら話は早い
あんた おれと つき合って!!
え
ヘンタイ?
違うっ
お前に会いたいって依頼があったの
一緒に来いってイミだよ。
君 あの"よろず屋"の志摩くんか!!
すごいなー 一度会ってみたかったんだよー
どんな人かってさー
ちっちゃーいなー
ところで志摩くん気づいてる?
え?
あのシャンデリア事故じゃないって
ああ
あの時刻に3人が立つ事を知っていた内部の犯行——

遺言状の内容を
考えると血縁者が
怪しいかもな
…
…
…
おれはもう
判っちゃった
よーん
え!?
うっそ…
ヒントあげ
ようか?
おじさんの遺言の
内容を知っていた
人物だよ
それも発表前
にね──…
あ
んー
おかしいな
確かに人影を
見たんだけど
君の相方と
ほとりだ

周平さん!!
いるんでしょ
きゃ…
——くそ…
バカ
やめろ!!
なっ…

あらら
もうKO？
てめっ…
に…二階から
飛ぶとは…
はー、
はー、
おっそーい
ほとり
遅れてごめん
APP 只今
参上しました
やっだー
ドラマの世界
だよ おい
ど…どーして
APPが
ここに…

日向周平からの依頼で君を守るよう言われたんだ
日向が…!?
じゃあ 日向が屋敷内を調べ歩いていたのは…?
点検の為だよ
さっきシャンデリアにハトの餌が仕掛けてあったと持って来てくれた
…と
このサングラスの男は共犯者だ
ヒントも与えたしもう志摩くんにも犯人判っただろ?
ん…?
何で…
周平さん自分で動こうとしないのかしら
自分で守ってくれればいいのに

さっきは守って
くれたのに…
他人に頼っちゃって
ズルイよ
!
……っ
おい…?
ど…
どーしたの!?
……っ
ス…

おい
あ…志摩さんっ
行っちゃった
あーあ
私…何か悪い事言ったかな…
まあ良い薬になったかもよ
え？
だってあれおれで言えば〝キョウ〟の方だし
でも良く出来てるよ
…何？
教えてよ――
う～ん
ムクッ
はあ
はあ
いや別に――

はぁ
ズキッ
……!!
涙を流したのはほとりの言葉のせい？
……………
よ
ポンッ
わあっ
それともコンタクトが合わないせい？
日向周平クン？

バサッ
ど…
どーして
やっぱりな
気になったんだ
眉間に指を
当てた事
ニーやって
あれ日向が眼鏡を
上げるのと
一緒だったから
でも それ以外は
判らなかった
逆に変装とか
演技は香の方か
見抜けるかも
しかし よく
そこまで性格
変わったな
…何だか この
APPになると
別人になったようで
大胆になれるんだ
憧れの小説の
APPと同じように
自信が持てる…
ストーップ

お前 それ ただの逃げだぞ？
誇れるものなんておれにだって無い
でも〝自信〟はある
だからよろず屋では自信 全部かけてただ夢中で突っ走る
ホントにこれでいいのか？ って迷ったりもするけど
むー
知ってる？
〝自信〟って 自分の能力・価値・考え方を信じる事なんだ

最後の相手の笑顔や
ありがとうが
走った甲斐を
感じさせてくれる
その姿で走っても
ほとりが喜ばな
かったのは
〝ほとり〟はお前に
〝APP〟を求めて
なんかいねーよ
走る人を限定
してるからだろ
お前が〝自信〟ない
って言ってた
〝日向周平〟
〝自信〟のある
APPを差し置
いて好きな女に
選ばれるなんて
最高の
名誉じゃん

ちょっ…離してってば!!
香くん!!
大丈夫!?
……っっ
…!!
あんた…
恨むなら お前の父親にしてくれよ
突然 全財産を娘に渡すなんて言い出して――
おれ達は迷惑してんだ!!
お前がいるとジャマなんだよ!!
だから殺すって?
…

いるんだよね
聞いてもないのに
追い込まれると
自爆するタイプ
よくまぁ
ベラベラと
しゃべる
ああ
初めから よく
しゃべってたな
アンタは
女の子の扱い方
へただったから
すぐ判ったよ
う…
サイテーじゃん？
そんな ぶっそーな
モン出して
あ
そーだ

あんたも同じ目に遭ってみたら？
ガッ
!!
や…ろ…
ザザ
バッ
ほら いい気分しないだろ？
ピタッ
香!? やめろっ

え？
志摩さん
やめろって
ズ
ばか 手は
離すな…!!
ガ
あ…ぶね〜
お前…
何っ！
危ない事を
……
脅かした
だけだって
APP!!
ほとり

ごめんなさい!!
さっき貴方の事傷つけたんでしょ?
私思った事すぐ口にしちゃうから……
きっと周平さんも傷つけてる…っ
私の事嫌な娘だと思ってるわ
違…
おれは君の事——
ズル
好…
志摩っ…

ほとりっ
依頼完了ね
なっ…
APPが
周平…さん？
ね…ねー
さっきの
続きは？
えっ
いや…
はっ…は
はい…っ…
あの…っ
「き」…です
…ったく
続けて
言えーー!!
さて こいつは
どーするかな

タッタッタッ
パパ!!
ほとり
どこに行ってたんだ
心配したぞ
色々大変だったんだから
でも もう終ったわ
ね?
叔母さん
!!
な…何を言って…
ドキ
いっ…て
全部 あんたの恋人の哲郎がしゃべったよ
ま その前からあんたが怪しいと判ってたけどね

遺言状の
発表以前に
内容を知って
たんだろ？
シャンデリアを
落とす準備も
出来たしな
騒いでた客の中で
「だから」なんて
冷静に言ってたし
に…兄さんが
悪いのよ!!
娘と…
赤の他人にまで
財産を全て
渡すなんて…っ
ザワ
ザワ
私はいつまでも
人の金にばかり
頼っている
お前の為に
決断したんだ
ねぇ
あんた自分の
兄貴が死んでも
哀しまずに
遺産の心配
してんだろーね
…っ！

その〝自信〟を疑いもせず
どこまで走り続けるの？
コースは間違ってないか——？
さて帰りますか
そろそろね
何かクリスマスパーティーどころじゃなかったな
あら
周平さんが好きって言ってくれたから私は充分よ
それに

志摩さんと香くんに会えた事もね

急に素直になったな
別れ際は好印象を与えておくものよ
お前…
志摩くん今回は君に借りが出来たね
何言ってんだよ 日向
先に犯人が判ってたのはお前のクセに…
今の…ちょっとAPP入ってたよな?
…うん…
"APP"は続けるから
借りは必ず返すよ

聖夜の訪問者／おわり

スウィート・サイレンス
—よろず屋東海道本舗・5—

ー。
マジ 入るの？ 香
ざわ ざわ
きゃはは やだー
ざわ
ねえ 今日 何食べる？
私はクレーム ブリュレかな
ざわ
ざわ ざわ
だって 志摩さん 依頼人 この中なんだろ？
そう この ケーキ屋
Sweet
Sweet

うっそ― マジ―――?
あいつ…ほら 体育の―――
え―――
何だ…?
志摩さーん? 行くよ―――
おう
怒ってる…?
のか?
あの娘…
いいねぇ 華やかで
ガタン
男二人で来る所じゃねーよ
やぁ!!
志摩くん 香ちゃん

え?
あーー
日向っ!!
ちっがーう
"APP"でしょ?
相変わらず騒がしいなぁ
何で お前がここにいるんだよ!!
仕事の依頼受けたんだよーん

な――!?
てめぇらの仕事パクる気か?!
おれのせいじゃないだろ――
志摩くんじゃ頼りなかったんじゃないの――?
くす
何だと~~~?
"日向のままで"言ってみろ!!
!!
志…志摩くん返して…
!!! わはは
変装してなきゃまだ自信持てねーのか?
そーゆー事は

それに お前 おれに 借りがあるだろ？
確かに 彼女との仲を取り持ってくれたのは感謝してるよ
こたくハハ
でも いつ返すかは
見下し。
べーだ
おれが決める
…んだと
ほれほれ ケーキだよ 志摩さん
よろず屋東海道本舗の方ですか？
初めまして
ペット？
えへ
えへ
えさ与えると落ちつくから

"sweet"のパティシエ
田辺晴です
あ どーも
駿河 香です
志摩義経だよ
あんたAPPにも依頼したな!?
うちの方が信用出来るだろ!!
すみません ただ――
ただ?
失礼な
どちらも"何でも屋"なので とりあえず頼んでみようかと…
てめ
じゃあ 依頼内容を聞こうか

髪切り魔を
捕まえて下さい
髪…？
はい この近くの
紫蘭女子高校
の生徒が被害に
あっている様です
発生現場は
この近くか？
はい
ギッ
初めは高校の
裏門に出没してた
そうですが…
つい先日 正門側の
こちらでも
一人被害者が…
綺麗な髪で
ポニーテールが
似合っていたの
に…
許せない…
………

田辺さんその娘好きでしょう?
ギクッ
——え!?
ど…どうして
だってその娘の事だけ細かく言ったから
そ…その通りです
カチャ
依頼のきっかけはそれ
店へ来る客が減った事も入ってますがね
お茶どーぞ
本当は私自身が動きたいのですが…
近く洋菓子の競演会に作品を出す事が決まっていて——…
よし引き受けた
ここだろ ここ借り返す所って
やだ
じゃあ捕まえた方に報酬を支払うというのでは?
のった
こわい

んで どーする？
このパターンだと
囮とかって
思うけど
得意だろ
女装。
へぇ——…
楽しみ
あ
じゃあ ヅラ持って来なきゃ
にやーり
得意じゃ
ねぇよ!!
香ちゃん…
ポン
制服の方は
任せて下さい
妹が紫蘭の生徒
だったんです
ねぇ
あれって…
モデルのキョウ
だよねー？
じゃ おれ達
帰るから
行動は
明日からな
まずい。

あ？
どーしたの？
あの娘…
まだ居る
!!
タッ
津田さん

こんにちは
今日は珍しいお客さんがいますね――
芸能人が来てるの――
津田さんも寄って行きませんか？
え
ごめんなさい 私これから部活あるんです
じゃあ
あ…
田辺さん
今のが好きな娘？

はい
〝津田みゆき〟さんです
店の前によく立っていた彼女を何度か誘って――
一度だけ入って来て下さったことがあったのですが…
コトッ
どうぞ召し上がって下さい
綺麗ですね
私のケーキを褒めてくれた

けれど彼女は
口を付けな
かったんです
それからは 何度
誘っても店には
入ってくれなくて
私のケーキが
おいしそうには
見えなかったのか
あるいは
私自身が嫌われる
様な事をしたか

初めまして
羽田 亮です。

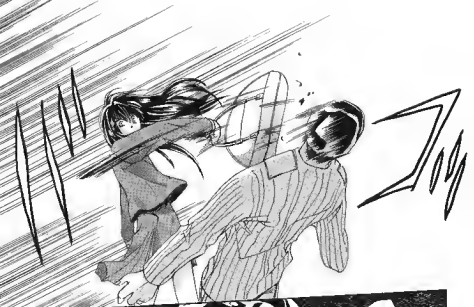
11月28日生まれ
いて座のO型。身長163cm
・好きなモノ…コーヒー・
紅茶、チーズ類・ノーマン
ロックウェル氏のイラスト etc.
・嫌いなモノ…ドライフルーツ
・グレープフルーツ etc.

好きなアーティストは
スターデリア・エレクトロ・ミズイル
・ブリリアントグリーン・ラルク
他にも色々います。

芸能人ではダウンタウンさん
(芸人か…;)昔から好きだな。

以上自己紹介でした。
どうぞよろしくお願い
します。

行きますか
怖っ!!
今回のヅラはストレートです
下は？
こらこら
ショートパンツ
がばっ

では よろしくお願いします
おうじゃあおれは紫蘭の方廻るから
お前ら二人は駅の方や 店周辺頼んだぜ
はーい
――にしても
えーと…
この先は 裏門に行く道だよな
店の閉店の時刻は人通りがほとんどないな
犯行には最適…か

!?
な…？
ギクッ
足。
おれの金踏んでる
小銭バラまいちまったんだよ
…おら
どーも
ヒヒったー髪切り魔かと思

つた…
!!
スッ
!!てめぇか
!
にっ

いって…
やつだー
当たっちゃったー？
怖っ!!
いたのかお前ら…
～～～くっっ
騒がしかったもんねー
まあ これで報酬はうちの…
ちょき

ハラッ
あー!!
てめ…
…のっ
ポンッ
ダメよーん
今度は　おれの番
"sweet"の前で待ってな
……っ
あーあ
くっそー
おれとした事が

あらー
正門側まで来ちゃった？
どこ行っちゃったのかねーアイツ
まさか校内に逃げ込んだか…？
ちら
あ
津田みゆき
こら何してんの君
ピタッ
え？
昨日"sweet"に居た？
そーー
あんた剣道部だったのか
そーだよ
ところで君は？
何してたんだい
あぁ

あんたを襲った例の髪切り魔
こっちに逃げて来なかった?
え…!?
出たの!? 正門側なのに…
出たのは裏門側だよ?
それに あんたが襲われたのも正門側だろ?
!!
ギクッ
まぁ いいや
ちょっと付き合ってよ
……………
うわぁ…

ナイフ持ってるの見たら怖くてさ——
え…？
ナイフ？
何で…津田さんが
志摩くん達戻ってたんですか
まさか…また襲われたんですか!?
ちっ…
違います!!

私…っ
田辺さんに心配してもらえる様な立場じゃない…
みゆ…
それは
無理です
みゆきは
嘘をついている
犯人の凶器はナイフじゃない
ハサミだ

APP!!
みゆきは髪切り魔に襲われてねーな?
ボソ ボソ
たぶんねー
ハァーイ志摩くん
お前気付いた?
コポポ…
あの嘘?
あぁ――
何か判ったんですか?
い…いや
ギク
おっ珍しく自信無さ気じゃねーの?
ニヤ ニヤ
だって理由が判んないんだもーん

あの・・お二人に試食をして頂きた――
くるっ
あれ？
キイッ
志摩くんもーいませーん
他の被害者にも会うって飛び出して行ったから
はぁ・・
おれにはたべたくないってさ
それでは貴方にだけでも・・
カタンッ
あぁ競演会用のケーキ？
はい
あ？
へー
いつも店に出てんのとは違うじゃん
なるほどっこれかあ!!
カランッ!!

え？
紫蘭に来い？
はい そう言付けを
受けました
じゃ おれも
行きます
はい
きゃー
ありがとう
ございます
Sweet
あ？
紫蘭に行くのって
昨日の道で
いーのかな
ガタンッ
みゆきさん
キョウ
KIRIN
ガコンッ

帰り？
うん 部活終わったし
よーし じゃあ お姉さんがおごってやろう!!
そのコーヒー
おいしいよねー
ん？
サンキュ
この苦みが良いんだよね――♪
あれ？
もしかしてみゆきさん…
何 あの人
こっちに向かって来る――

ジャキッ
ガンッ
ーどうやらその男が怪しいな…
キョウ!!

あ…
髪――!?
大丈夫!?
うん 今ドラマの仕事とか入ってないし
おい お前 昨日の女の彼氏か？
そーいう問題じゃないだろ 君は!!
顔が良いからっていい気になるなよ!!

ドガ
ッ
てめーがな
志…!?
いつの間に
香の髪
切りやがって!!
ったく…
スッ

待——った!!

ガッ

その辺にしとけって!!

志摩さん…そんなに怒んなくてもさー…

やりすぎだぞ

お前は自分の事だと甘いな

おい

ビクッ

お前 以前紫蘭の娘ナンパしただろ?

被害者が言ってたぜ?

犯人と そのナンパ男の容姿が似てたって

…だってよ

紫蘭の女 おれの事カッコ悪ィとか言ったんだ…

紫蘭の女であれば誰でも良かった…

ただ仕返しがしたかったんだよ!!

てめーみたいに
女にモテる男も
ムカつくぜっ!!
おれは いーけど
みゆきさんには
謝れよ
!!
なっ…
そんな女知ら
ねーよ
あんたね―…
理由は〝田辺晴〟が
好きだから
香ちゃん これ
たぶんホント
みゆき
お前 その髪
自分で切ったな?
ご…

ごめんっ!!
私…っ
田辺さんの一生懸命
仕事している姿が
好きなの…っ
もっともっと傍で
見てたかった
だから…
田辺さんが被害者を
心配してたって
知った時――
すごく羨ましくて
つい嘘を付い
ちゃったの…っ
でも
みゆきは正門側が
帰り道だから
髪切り魔も 裏門
から移動した形に
なっちまったワケだ

〝Sweet〟のお客さんが減ったって知った時
すごく後悔した…っっ
津田さん
ただ…私は
田辺さんに もっと近づきたかっただけなの…!!
きっかけは田辺さんが作ってくれてたろ
あの店の扉はそんなに重かった?
…それは…
これだろ?

原因は
缶コーヒー？
みゆき…あんた甘い物ダメか!?
ブラック!!
その通り 昔から苦手だったんだ…
以前一度だけ店に入った時もケーキは食べられなかった
嘘って一度つくと
それを隠そうと幾つにも重ねちまう事があるよな
きっと田辺さんを傷つけたわ
それが どんどん深みにハマっちゃってさ
抜けられなくなるけど…

どっかで それ
蹴っ飛ばさねーと
な?
ーー
うんっ
私 今から田辺さんに
謝ってくるよ
あっと…

それは明日にした方が良い
田辺さんには連絡しとくからさ
志摩くん 今回は〝よろずや屋〟に勝ちを譲るよ
香ちゃんの髪も切られちゃったしね
くしゃ
とりあえずね
?
いらっしゃい
どうぞこちらへ
パイを焼いたんです
Sweet

あ…
あの 私…
コーヒーは
ブラックでしたね
カタンッ
スッ
これは貴女の
為に作った——
ザクッ
ミートパイです

どうか召し上がって下さい

——はい

やられたな

お前が勝ちを譲ったワケはこれか…

まぁね… 田辺さんは薄々勘づいてたらしいよ

甘い物嫌いの事

だから競演会に提出する作品のテーマは〃甘くないケーキ〃…

つまり〃みゆきの為〃に焼いたケーキって事

演出はAPPの勝ちだね——

とーぜんよ!!

敵をほめるなっ!!

今度会った
時は必ず

勝ちは
もらうよ
何度もタダ
働きする気
ないしねー
今回は
特別よ
う
じゃあねっ
む〜〜〜
次は完全勝ち
したる!!
ま〜ま〜
ケーキでも
おごってやるから
おちつけって
スウィート・サイレンス／おわり

POSTSCRIPT

あとがきです。初めて雑誌に載せてもらった作品が、こうして単行本にして頂けたのが妙な気分です。続きもの(シリーズ)になるとは思ってなかったですし…。基本的に私は"現実物"という作品を描いていなかったので かなり大変です。とりあえず各作品について カンタンなコメント→「よろず屋東海道本舗」担当さんに"男の子2人組の話"と言われたので パッと浮かんだのが身長差(笑)。小さいのと大きい奴。それと小さい方が年上。そこから色々考えました。「天壌無窮～」は一番気に入ってます。山崎さん(おじいちゃん)描けたし(笑)。和風が出せたかなーと思ってます。「空間～」は もう何度ボツった事が。最終的には あの様な仕上がりになってしまいました。かなりくやしいですねー…。「聖夜～」は ライバル(APP)を出せたから とりあえず良しとします…。「スウィート～」は もう1度APPを出す!!が出来たんですが 対決させるつもりが 協力してしまったのが残念でした。キャラについて…特にプロフィールを教えて欲しいと読者の方に言われているので こちらも ホントに軽く書きます。『志摩義経』7月25日生まれ O型 身長159cm.18才。『駿河香(キョウ)』11月2日生まれ A型 身長185cm 16才。『日向周平(APP)』AB型 身長177cm 20才。以上。この3人は旧国名からとった名字。"志摩"、"駿河"は東海道から。"日向"は西海道。―というわけで タイトルが「よろず屋東海道本舗」。安易だね…。何故こんなタイトルなのか?と不思議に思ってた人がいましたが 1話目(1作目か)で作品中にセリフで言わせてたんですよー…。ところで私の作品は男ばかり出てくると よく言われますが それは たぶん昔から少女マンガよりも少年マンガを見てたからだと思います。気がついたら男ばっかり描いていました。…ちょっと暑くるしい?女の子も描くのは好きですけど苦手です。もっと頑張ろう…。

DARK BLOOD

DARK

North West

RYOH-SAENAGI PRODUCE

SEVEN SINS

photography SOH-UN.K

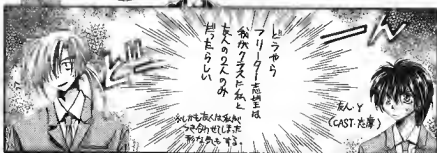
styling:KAORI.S

hair&make-up:H LANG

→君の将来について語る。

高3の時
進路相談で

お前就職も進学も
志望しないで
どーするつもりだ？

担任S氏
（CAST・日向）
しかし性格は
APPに近い。

牙凪 →
（CAST 香）

フリーターで
マンガ家を目指す!!

——と答えた所

バカか？

と言われた

そんな先生も含め周囲の人たちには色々世話になってます。友人・和泉さんには ホント毎回迷惑かけて ゴメン。昔から私の作品見てるので とにかく言うコトが スルドイです!! これからも よろしく 応援してくれる友人、家族、最近は時間がなく原稿を手伝いに来てくれた方、感謝してます。担当さんには迷惑かけてます…。それから もちろん作品を読んで下さる皆さま ありがとうございます。（こんな簡単な言葉でスマンのう…）

それでは このへんで

牙凪でした。

POST SCRIPT／おわり

花とゆめCOMICS

よろず屋東海道本舗①

デジタル版

著者	冴凪亮 (C)Ryo Saenagi 2015
発行者	菅原弘文
発行所	株式会社 白泉社
発行日	2015年3月1日